

森林パトロール通信

平成20年度第4号 平成20年10月28日発行

〇人事異動について

まず最初にこの森林パトロール通信第4号の発行が遅れたことについてお詫び申し上げます。

さて、前号では離任した須藤前支署長の挨拶を掲載しましたが、今号で高橋新支署長の赴任の挨拶を掲載いたします。今後も変わらぬご理解ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

《津軽森林管理署金木支署長に赴任した高橋和美です》

森林ボランティア巡視員の皆様には、常日頃から国有林の管理・経営にご協力いただき感謝申し上げます。

私は、8月に仙台署からこちらに参りまして、お世になっております。これからよろしくお願いします。

仙台で「祭り」といえば『七夕』でしたが、こちらでは『ねぶた』、ちょうど8月の異動で、五所川原の『立佞武多』を観覧することができ、その勇壮な姿に感激しました。

また、青森といえばリンゴ、ホタテ、十三湖のシジミなど食べ物も豊富で、津軽三味線、太宰治、吉幾三など有名ですが、『金木』といえば「金の木」とも言われる日本三大美林の一つ天然青森ヒバとの遭遇です。

秋田の天スギ、木曾のヒノキと並び、天然青森ヒバは全国の神社仏閣を中心に流通し、仙台でも総青森ヒバで建立した寺院(定義如来西芳寺)や蔵王町の『神の湯』が有名で、昭和30年代に活躍した森林鉄道の軌道の橋桁は、今も変わらず当時の面影を伝えています。



天然青森ヒバの生産は大幅に減少していますが、今年度は、ヒバの造林木も販売されま
す。どのような需要動向になるのか非常に楽しみです。

造林事業も、これまではスギが中心でしたが、今では造林技術も向上し、ヒバの植林も積
極的に行われています。

今、国を挙げて取り組んでいる地球温暖化防止、『美しい森林づくり』政策による森林整備
と併せて、次世代にその伝統と文化を、しっかりとした森林で継承したいものです。

○平成20年度清掃登山を実施

10月21日に総勢16名で五所川原市(旧市浦村)太田山国有林内の木無岳清掃登山を実
施しました。

当日は10月下旬としては最高の晴天に恵まれ、絶好の登山日和となり約1時間30分か
けて木無岳山頂へ参加者全員無事登頂しました。

標高587mではありましたが、山頂から見下ろす景色は若干のモヤが発生していましたが
目を見張るほど綺麗なものであります。

肝心のゴミは、道中ではあまりあり
ませんでした。登山道入口付近に
大量の空き缶の外、長靴、ヤッケ等
が捨てられていて全員で片付けたと
ころです。(残念ながら一部残しまし
た。)

一部の入林者の行為が環境破壊に
繋がることを鑑み、ゴミ捨て防止PR
活動の必要性をあらためて認識したところです。



《写真:木無岳山頂にて》

○事務局から

今年は意外とキノコが少なめなようです。こういう年は晩秋に主にナメコ採りの遭難が発
生しやすい傾向があります。

巡視の際は「無理をしないで下さい」「早めに山から下りて下さい」などの声掛けをお願
いします。

金木支署電話番号 0173-53-3115

担当:業務課長 山形正人